

## 社団法人茨城県穀物改良協会

[法人の概要]

平成18年7月1日現在

代表者名	会長 平間 敬章(非常勤)	県所管部課	農林水産部 農産課	
所在地	水戸市上国井町3340番地	電話番号	029-239-6300	
ホームページURL	<a href="http://www.ib-kokumotu.jp/">http://www.ib-kokumotu.jp/</a>	E-mailアドレス	<a href="mailto:ikkk-1@iris.ocn.ne.jp">ikkk-1@iris.ocn.ne.jp</a>	
資本金(基本財産)	一 千円	設立年月日	昭和59年5月25日	
主な出資者	出資順位	出 資 者 名	出資額	出資比率
	1		一 千円	一 %
	2		一 千円	一 %
	3		一 千円	一 %
	4		一 千円	一 %
	5		一 千円	一 %
	その他	団体	一 千円	一 %
設 立 目 的	主要農作物の原種生産及び主要農作物等の種子生産を行うほか、稲・麦・大豆・落花生及びそばの品質の向上を図るとともに、主要農作物等の生産性を高めることにより農業経営の安定及び向上に寄与することを目的とする。			

[事業の概要]

事業名	平成18年度事業費	内 容
事業1 原種苗センター事業	千円 86,868	主要農作物種子法により、県は主要農作物(水陸稲・麦・大豆)の原種を生産することが義務づけられており、それを協会が受託生産している。これにより、優良原種を生産し指定採種圃に必要な原種の安定供給に努める。
事業2 落花生栽培実証展示圃設置事業	千円 567	県内落花生の生産振興に向け、晩播栽培、適期堀取り等の実証展示ほを設置するとともに、食味格差などを比較することにより、良食味栽培技術を確立し県産落花生の品質向上に資する。
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	平成16年		平成17年		平成18年				
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事	1		1		1		1	
	非常勤理事	12		12		9			
	常勤監事								
	非常勤監事	3		3		3			
	計	16	1	16	1	13	1		
職員	管理職	5	1	5	1	4	1		
	一般職	8	1	8	1	8	1		
	臨時職員	7		7		7			
	嘱託職員	1		2		1			1
	計	21	2	22	2	20	2		1
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数		
	3	4	0	5	12	40歳5月	5年9ヶ月		

## [収支の状況]

社団法人茨城県穀物改良協会

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
収 支 の 状 況	収入合計	408,216	397,705	424,454
	事業収入	408,188	397,654	424,351
	事業外収入	28	51	103
	支出合計	407,682	391,593	394,050
	事業支出	407,682	391,593	394,050
	事業外支出	0	0	0
	うち管理費	110,724	111,311	108,354
	うち人件費	94,898	94,324	94,668
	当期収支差額	534	6,112	30,404
	正味財産増加額	0	0	0
	正味財産減少額	0	0	0
	当期正味財産増減額	534	6,112	30,404
	前期繰越正味財産	4,400	4,934	11,046
期末正味財産	4,934	11,046	41,450	
財 産 の 状 況	資産	268,372	276,922	264,420
	流動資産	268,372	276,922	248,422
	固定資産	0	0	15,998
	負債	263,438	265,876	222,970
	流動負債	263,438	265,876	206,972
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	0	0	15,998
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	4,934	11,046	41,450	

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
財 的 関 与 状 況	補助金	22,107	21,783	19,667
	委託金	88,365	87,489	88,053
	貸付金			
	計	110,472	109,272	107,720
	財政的関与の割合(%)	27%	27%	25%
	損失補償・債務保証			

## [平成17年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	原種生産に伴う運営補助金(10,077千円)及び主要農作物の生産振興と消費宣伝等に伴う事業補助金(9,590千円)
委託金	事業概況のとおり
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	14	14	100.0%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	34	40	85.0%
効率性	7	14	26	53.8%
合計	31	75	96	78.1%

公益法人会計用

社団法人茨城県穀物改良協会

警戒指標

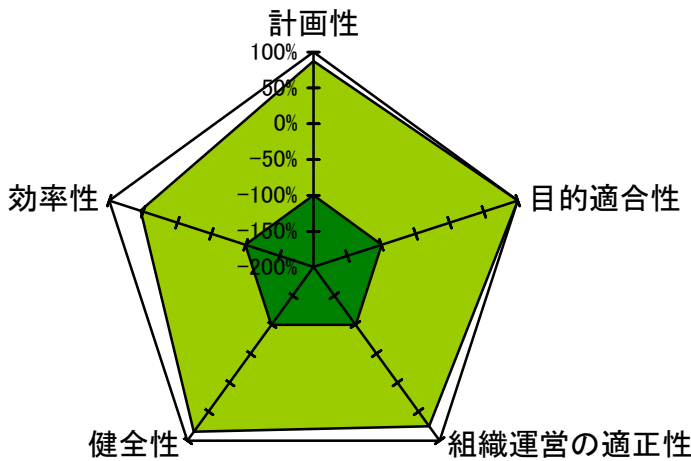
--

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

経営評価レーダーチャート



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
新たな米政策改革大綱を踏まえ安全・安心な売れる米づくりを目指し需要者の要望に応えられる優良種子の生産計画数量の確保を図る。17年度も計画どおりの実績を挙げている。	主たる事業として、米・麦・大豆の原種や種子生産事業を展開しており、採種生産面積に見合った原種生産を行い、生産量は目標を達成している。	職員数及び構成については、適正な水準と思われる。業務チェック機能も、整備すべき業務規程等についても積極的に整備を行い適正な組織運営に努めている。	毎年、種子更新率にも向上し、収支比率も更に改善しており、健全性は保たれていると思われる。	事業計画の策定については、予算面を厳格に算定し、優良種子の生産確保に向け県採種部会協議会の設置等による種子部会の育成強化、種子センターの設備等への基盤整備を行い、その執行面においても進捗管理を行い効率性を求めていく。
今後の事業展開の方向	平成19年度からの新たな施策の導入に伴い、今後の農業政策が大きく変革する中において海外輸入品との競争力のある農業経営の再構築が必要となっている。このような情勢を踏まえ、主要農作物等の品質向上と消費拡大はもとより、当協会として、主要農作物の生産に係る公益事業に継続性を持って、積極的に取り組み、優良種子の生産と、種子更新率の向上を目指し、本県農業の発展と農業経営の安定に寄与して参ります。			

[法人を担当する課の意見]

計画性		目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
茨城農業改革大綱に対応できるよう、毎年事業毎に年次計画を策定し、効率的に優良種子の生産と安定供給できるよう指導する。		水陸稲、麦、大豆の原種生産量は目標数量を達成しており、安定供給していることは適正である。	平成17年度より情報公開規程を制定し、財務内容・事業活動内容の開示に努めたことは適正である。今後も業務規程を見直し、構築を図るよう指導する。	収支比率のバランスはとれており、毎年連続して黒字を保ち、健全性は保たれている。	管理運営費について分析を行った結果、管理費の削減となり、効率性は良くなっている。さらに執行にあたって厳格に算定し、効率性を求めるよう指導する。
第4次行財政改革大綱等の推進工程	推進事項	再編統合等の推進、組織・事業の抜本的見直し (財)茨城県農林振興公社、(社)茨城県穀物改良協会、(社)園芸いばらき振興協会の3団体の組織の統合又は管理部門の一元化について、その効果・問題点、さらには今後の県の関与の在り方について検討していく。			
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	計画	・農業関係3団体の組織・事業の見直し検討委員会を設置し、3団体の組織の統合又は管理部門の一元化、県の関与の在り方について検討	・組織統合又は管理部門の一元化等の実施調整	・組織統合又は管理部門の一元化等の実施予定	
	取組状況	—	—	—	
法人担当課の意見		経営評価の結果をうけて、経営基本方針及び情報公開規程を策定したことや、公益法人会計基準に則った経理処理や財務諸表の作成できる会計システムを導入するなどの改善に取組み適正である。今後も健全経営と安定生産に努めるとともに、種子更新率を向上させるため、関係団体と連携した広報・PR活動や巡回指導実施、採種ほ場の確保について指導していく。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>県の種子更新計画などを受け、今後とも、効率的な運営の下、優良種子の安定生産等に努めるとともに、関係団体と連携した広報・PR活動や巡回指導などを通して、種子更新率の向上に積極的に取り組まれない。</p> <p>また、当法人を含めた(財)茨城県農林振興公社、(社)園芸いばらき振興協会との組織の統合又は管理部門の一元化について検討する必要がある。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>種子の更新率を向上させるため、今後とも県の高品質米生産運動に取り組むとともに、栽培農家、市町村穀物改良協会への意識啓発はもちろん、引き続き関係団体と連携した広報・PR活動、巡回指導に努めるよう指導していく。</p> <p>また、(財)茨城県農林振興公社、(社)園芸いばらき振興協会との組織の統合又は管理部門の一元化について関係機関が連携して検討するなど、組織・事業の見直しを図っていく。</p>
-------------	--

< 社団法人茨城県穀物改良協会 から県民のみなさまへ >

昨今、消費者からは食の安全・安心な農産物を安定的に提供することが求められております。この要望に応える為に、当協会は、県の種子更新計画に基づき、主要農作物の原種の受託生産を行うとともに県内の優良な生産農家に採種生産を委託し、生産された優良種子を県内の一般生産農家に供給しております。この優良種子から生産された本県産の農産物が県内外から高い評価をいただけるように、当協会としましても、市町村協会・関係団体と連携し生産振興及び種子更新率の向上はもとより、消費者の皆様安心して「買ってもらえる」農産物の供給と優良種子の安定生産に努めて参ります。

平成19年2月 会長 平間 敬章